

# 中部電力との密約＝産業廃棄物焼却場は白紙撤回に 石川輝彦議長が発言妨害 あなたは未来に責任持てるのか

## 玉虫色の報告は中電と同調

9月25日碧南市議会協議会で、資源循環事業等の検討に関する連携協定に基づく検討結果について報告がありました。

この協定は前瀬川田市長が、2023年6月2日に、市民にも議会にも内緒で、事後報告の形で締結したものです。

碧南市と中部電力株式会社のとめ文章は43ページすべてが、中電の提案「一般廃棄物の民間委託を礼賛。バイオマス発電の持ち上げ。ごみ減量に対して産廃を集めて焼却量を確保」など中電PRを、無批判に取り込んだものです。

## 廃掃法違反、一般ごみと産廃混焼

一般廃棄物、産業廃棄物の処理業務に関わる人が守るべき法律が、廃掃法 廃棄物の処理及び清掃に関する法律)です。

その5つのポイントは

- 産業廃棄物と一般廃棄物は分別して処理する
  - 産業廃棄物は排出事業者が処理する必要がある
  - 自ら処理できない場合は産業廃棄物処理業者に委託する
  - 廃棄物が回収されても最終処分完了まで排出事業者が責任がある
  - 廃掃法に違反すると罰則を受ける
- 行政が、中電とともにこのような法律違反をしてはなりません。

## ごみ焼却場比較

**公設でごみ焼却場を設置**

- 国の交付金を受けられる。建設。旧施設の解体費用にも。
- 市民とともに行政がごみ減量、排出抑制を施策として推進できる。
- 現在の職員の雇用を守れる
- 発電、余熱利用で市民に還元できる。
- プール、浴場を継続できる。
- 公設への大きな信頼。
- 気候危機打開に、中電に堂々と物言える。

**中電の産業廃棄物焼却場へ一般ごみを委託**

- 建設費の負担を求められる。
- 場所の確保を求められる。
- 国交付金は出ない。
- 委託料は中電の意のまま。
- 災害・事故で焼却場が廃止になると、対応できない。
- 法律違反
- 一般ごみと産廃の混合で責任や罰則が不明確に。
- 業者の利益最優先
- ごみ減量が、利益減につながりごみ減量に逆行。
- 環境行政、ごみ行政も中電に頭があがらなくなる。
- 中電、JERAは気候危機打開第一に取り組みべき。
- 近隣自治体との連携を阻害
- 津波地震などの共同処理に自治体として役割をはたせない。
- バイオ発電で生ごみごちゃまぜを市民に強要。
- 産廃焼却場を碧南市に誘致。
- 200t/日の大量焼却場に。

## 2050年までのカーボンゼロを本気で

中電の、産廃焼却場は、200t/日の計画です。衣浦衛生組合では110t/日に縮小した計画にしました。カーボンゼロを掲げながら約2倍の焼却場を市が進めていくのでしょうか。猛暑、豪雨、農産物の日照り被害に苦しむ人たちに背を向け、気候危機打開を願う世論に逆行する碧南市でいいのでしょうか。

## 企業代表議員の醜態

議会協議会は、議長の石川輝彦議員が会長で進められました。しかし日本共産党山口はるみ議員の質問に、ことごとく口をはさみ妨害する。アイシン出身議員として産廃物でも出すための、企業代弁なのでしようか。見苦しい限りです。ご自身も子どもや孫を持つ身。若者の未来や、環境ごみ問題を、お金や企業利益優先で進めていいのでしょうか。

## 中電焼却場、白紙撤回まであと一歩

表のように、中電の産廃物焼却場は問題だらけ。市も明確にこれらの問題点にこたえられません。現在、人類最大の気候危機打開に、市民が立ち上がっています。若者裁判も始まります。資本主義の究極の矛盾と欠陥。地球や人の未来も企業利益最優先を変えさせましょう。推進者は追い込まれています。あと一歩です。

## 裏金、政務活動費が問題になっているとき 公明党が政務活動費の引上げを

9月26日の議会運営委員会で令和7年度の議会予算が論議されました。

公明党加藤厚雄議員は、政務活動費の二期値上げを要求。現在198,000円の年額を24万円に42,000円引上げ要求。22人では924,000円の引上げを12月議会に提案すると、日本共産党以外の委員が同調して決めました。東部プラザの石炭設置に反対した議員たち。創価学会や公明党支持者は、くらしの大変な方々が多いはず。これで弱者のくらしを守れるでしょうか。国も地方も国民のくらしの痛みを忘れた姿にあきれ、心底怒りに思います。



**さあ!!総選挙 憲法改悪、裏金、統一協会 真相解明出来ぬ自民党も**  
**日米体制主軸の立憲も** **ダメ!!**  
**日本共産党は、西三河全区に小選挙区擁立でがんばります**

**若者の未来しめせない  
政治変えよう**

自民党総裁選と立憲民主党の代表選挙の結果、浮き彫りになったのは、平和憲法を改悪し、アメリカとの軍事同盟のもとで軍事費2倍化、戦争法のもと地球の裏側まで、日本の若者をアメリカ兵とともに戦争に駆り出す、殺傷平気の輸出など「戦争する日本」に向けた危険な政治です。

日本共産党は、平和の最大の危機に対して102年前から、反戦平和と自由や民主主義、人権を守るために命をかけて来た政党として、来る総選挙では全選挙区で独自候補を掲げて闘います。

**自民党政治を終わらせたい。国民の大闘争に**

国民の中には、自民党政治にもうダメ。変えなさいと思っっている方が多くいます。こうしたみなさんと力をあわせ、未来社会を切り開く国

**愛知13区**

牛田清博 うした きよひろ 66新  
愛知学院大学卒。刈谷市議1期。  
日本共産党西三河地区委員。  
13区政策委員長



民闘争として総選挙を闘います。  
**愛知では、共闘は**

**1, 3, 10区のみ**

全国で小選挙区を擁立し、愛知県では1, 3, 10区のみ共闘しますが、他は独自候補。  
西三河では11区（豊田、みよし）は植田和男氏、12区（岡崎、西尾）は関久一氏、次回発表）13区（碧南、高浜、安城、刈谷、知立）は牛田清博氏が決まりました。

**賃上げと一体に、**

**労働時間短縮を**

日本共産党は「賃上げと一体に、労働時間の短縮を、働く人の自由な時間を拡大するために力を合わせましょう」と題する政策を発表しました。この中で、自由時間拡大のための労働時間の短縮を推進する法律案、自由時間拡大推進法案」を提唱しました。若者を含む労働者から「自由な時間がほしい」との切実な声があがっています。長期の自民党政治のもとで、労働法制の規制緩和などが進み、

**愛知11区**

植田和男 うえだ かずお 75新  
名古屋大学卒。日本共産党愛知県  
常任委員。党県名誉役員。



<http://hekinan.jcpweb.net/>  
日本共産党碧南市議員団のホームページをご覧ください。



**日本共産党碧南市議団**



市議会議員  
**山口はるみ**  
☎42-8940  
三度山町 2-70-4



市議会議員  
**磯貝明彦**  
☎48-2718  
若松町 3-253



もとむら伸子 すやま初美



**総選挙で新しい政治に**

衆議院比例東海予定候補

**大軍拡・増税許すな**

**10月19日(土曜日)午前11時〜12時**

ピアゴ碧南東店  
碧南市東浦町6-17 (日進小学校南)

**百年後の私たちが  
百年先をつくる**

党創立から102年がたった今を生きる私たちが気候危機打開、自由な時間やお金のかげを改め、人間の権利と幸せを切り開きましょう。

異様な長時間労働を容認する国にされてきました。いまこの国で本当に人間らしく、夢や希望を持って働き、暮らせるのが問われています。人を大切にする働き方が経済発展の道です。総選挙でも大きな柱として掲げてがんばります。